

公共施設等の「長寿命化・最適化」を通じ、持続可能な行財政運営を推進するとともに、県土強靱化やレジリエンスの強化に資することにより、「安心度」「透明度」を高め、「未来に引き継げる徳島」の実現を図る

1 計画の位置づけ

■国のインフラ長寿命化基本計画に基づき、県の公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する中長期的な取組の基本的な方針を定めるもの

※H27.3月策定（H27.4.1～R7.3.31）
R7.3月改訂（R7.4.1～R17.3.31）

2 対象施設

■公共建築物 5類型

（庁舎等公用・公共施設、教育施設、警察施設、住宅施設、病院施設）

■インフラ施設 12類型

（道路、河川・ダム、砂防、海岸（県土）、下水道、港湾、公園、土地改良、漁港、海岸（農林）、治山・地すべり防止、企業局施設）

計17類型

3 計画期間

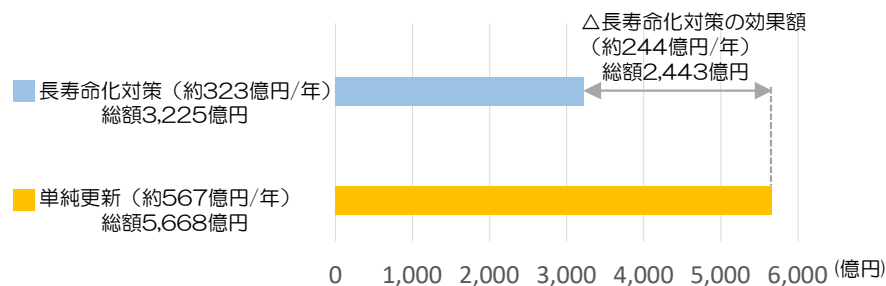
令和7年度～令和16年度（10年間）

4 中長期的な経費の見込み

■長寿命化対策を行った場合の効果額 年間約244億円

今後10年間（R7～R16）の公共施設等の維持管理・更新等に係る経費の見込み

※「予防保全型維持管理により長寿命化対策を行った場合」と「耐用年数経過時に単純更新した場合」を試算



5 課題等の基本認識

- ①公共施設等の老朽化
- ②公共施設等に対するニーズの変化
- ③持続可能な行財政運営

6 基本方針

■基本的な考え方：公共施設等の「長寿命化」「最適化」の推進

＜実施方針＞

- ①点検・診断等
- ②維持管理・修繕・更新等
- ③安全確保
- ④耐震化
- ⑤長寿命化
- ⑥持続可能・機能的な配置
- ⑦DXの推進
- ⑧GXの推進
- ⑨PPP/PFI活用
- ⑩広域連携
- ⑪情報管理・共有
- ⑫総合的かつ計画的な管理体制の構築

7 目標

- ＜目標1＞「公共施設等の長寿命化の推進」
⇒プラスー世代以上（概ね25～約40年）の長寿命化
- ＜目標2＞「公共施設等の最適化の推進」
⇒最適化件数を「3倍以上」
- ＜目標3＞「官民連携（PPP/PFI）の推進」
⇒官民連携（PPP/PFI）の件数を「5倍以上」
- ＜目標4＞「長寿命化の推進体制の充実」
 - ①個別施設計画
 - ②公共建築物の保全情報
 - ③全庁的な公共施設等データベース
 - ④全庁的なフォローアップ